

一般質問通告一覧表

令和8年9月定例会

通告順	氏 名 / 件 名 及 び 要 旨
4	(吉岡 政昭) 1. 早来学園や安平教育プラン（遊び・学び・挑戦）をこのまま全国的に宣伝して良いのか (要旨) 早来学園の宣伝をこのまま全国的に続けて良いのか。宣伝の中心は「生徒不在」「教育活動不在」の施設の宣伝と「これからの教育の在り方」であり、現在抱えている早来学園や追分小中学校の生徒指導や学習指導に関する現場の話題が、どれだけ取り上げられたのか。また、宣伝の実働部隊はファンディングベースという会社なのだが、この点はもっと分析されなければならないのではないのか。 「あびら教育フォーラム 2026」が開かれました。新聞の一面見出しには参加者の笑顔いっぱいの写真付き記事が掲載。「安平町の教育を全国に発信する」としたフォーラム。同じくネットの詳細プログラムの中でも「安平町の教育実践や地域の取り組みを全国に発信するとともにこれからの教育や地域の在り方についてともに考えるイベントです」とありました。こうした動きと前校長が発した「立派な建物であるために学校の中身も立派に見られがちだが、実際はそうではない」との言葉を真正面から取り上げる必要があるのではないのか。バランスを欠いた宣伝に強い疑問を抱かざるを得ない。校長の発言に教育者としての心の痛みを感じる。学校の実態と異なる一面的な学校の宣伝。この記事とネットの詳細プログラムを読んで「これでいいんだろうか」という複雑な気持ちを持った。空手形を大量に発行しているようで、この先のしっぺ返しが心配だ。 (1) 前校長が早来学園便りと運営協議会の「会誌」で述べた現状から学習権の妨害として「授業中の大声・歩き回りなどの授業妨害」、「いじめ」、騒音・寝る・真剣に聞かないなどの「授業態度不良」などの報告があったが、現在でもそうなのか。 (2) 改善の取り組みなど不明であるが、どのように対応しているか。 (3) 「あびら教育フォーラム 2026」で、「安平町の教育実践や地域の取り組みを全国的に発信する」とあるが、「学習権の妨害」が起きている状況は、「全国的に発信」しているのか。反応をどう把握しているか。

- (4) そもそも「あびら教育フォーラム」とは何か。どんな目的で実施されているのか。
- (5) 「あびら教育フォーラム」が最初に開催されたのは何年か。その時の主催者はどこか。また、参加費はいくらか。

2. 私が初めて参加した「フォーラム」について

- (1) 「あびら教育フォーラム 2023」(2023 年)
 - ①主催者は誰か。
 - ②参加人数は何人か。
 - ③会費はいくらか。
 - ④この時の収入総額はいくらか。
 - ⑤収益はファンディングベースが全額受け取ったのか。
 - ⑥会計報告は行われたか。
 - ⑦決算報告に載っているか。

3. ファンディングベースとは、いかなる会社・組織か。

(要旨) 「あびら教育フォーラム」の主催は、2025 年までのファンディングベースが担ってきました。ところが今年から 7 つの組織からなる実行委員会組織になりました。私は「あびら教育フォーラム 2026」の初日に早来学園の施設見学をしましたが、案内役は井内教育長でした。

受付しながらまず気付いたのは、参加者の多くがお金を支払っていました。調べてみると初日の参加費は 8000 円。2 日目の参加料は学生 1000 円、一般参加者が 5000 円。3 日目は一般 2000 円。

- (1) 「あびら教育フォーラム」の主催がファンディングベースから実行委員会に変わった理由はなんですか。
- (2) 実行委員会は、6 つまたは 7 つとも受け取られるが、その他に事務局長 studio-L とあるが、studio-L とはいかなる団体か。
- (3) 「あびら教育フォーラム 2026」に関する質問
 - ① 8 月 16 日の参加費 8000 円/ 1 人の収入総額はいくらか。
 - ② 8 月 17 日の参加費各 1 名あたり一般 5000 円・学生 1000 円の総額はいくらか。
 - ③ 「あびら教育フォーラム 2026」における 3 日間の収入総額はいくらか。

④ 主催者は7つの組織からなる実行委員会とある。

(追分地区学校運営協議会・早来地区学校運営協議会・一社)

ENTRANCE・おいわけ子ども園・はやきた子ども園

Funding Base・町民ボランティア、事務局長 studio-L

⑤ 領収書発行者はどこか。

(4) なぜ研究会の参加に料金を取るのか。いつ教育委員会はそれを認めたのか。

(5) 「あびら教育フォーラム」の実働宣伝部隊は、ファンディングベースであると考えがその認識でいいか。

(6) ①早来学園の視察に費用を徴収することに決定したのはいつか。教育委員会で見学料徴収を決定したのか。

4. 答弁と違う！早来学園の木造平屋校舎増築について

(要旨) 「児童生徒の増加により教室の不足が課題化している」早来学園に関しては、今後の児童生徒数の推移を見ながら必要なスペースの確保に努めます(町長の「6月議会における早来学園の教室不足に対する答弁について「まだ決まっていない」とはどういうことか。「5億円かけて木造平屋校舎を増築して対応する」との方針は、答弁の後でも「なかったこと」にするのか。

(1) 私の一般質問をどのように受け止めたのか。

(2) 「5億円かけて木造平屋校舎を増築」はいつの話ですか。反論、「仮に」なんて言っていない。「仮に木造平屋校舎を増築した場合は、5億円程度と試算しているということであり、まだ何も決まっていません」とはどういうことか。

(3) 改めての答弁。今後、児童生徒の推移を見ながら検討していくこの4年間。全く手を打っていない。これは時間が経ったら「減る」と読んでいたのか。今なお、「今後の推移」と言うが、この4年間現状は変わっていない。結局何も手を打たないということか。